

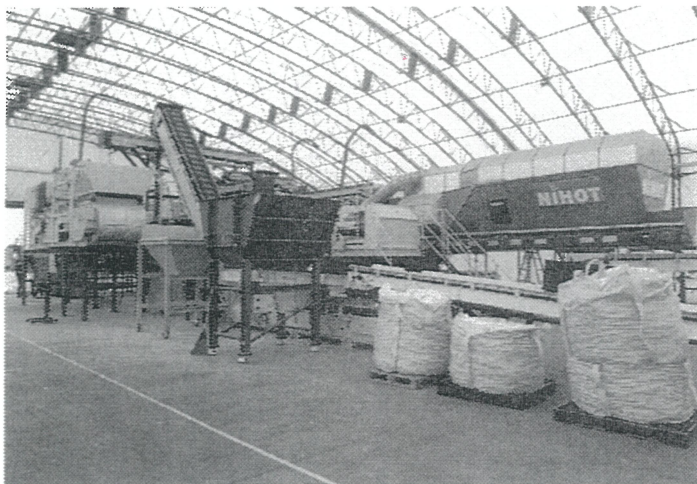
サナース(東京・品川、阿部智社長、☎03・6410・8623)はこのたび、サナースソーティングラボ(SSL、千葉県富津市)の稼働を開始した。同社における環境ソリューション事業の柱として機能する施設となり、欧州製装置を組み合わせた選別ラインが実際に稼働するようすの見学や、破碎した金属スクラップや自動車シュレッダーダスト、焼却灰などの選別テストを行える。非鉄金属メーカーやその関連業者からの問い合わせを多く受けており、毎日の稼働でも間に合わないほどの注目を集めている。

SSLは、同社が提案する重要な選別プロセスである①ストリームマネジメント(定量供給)②スクリーニング(粒度選別)③セグ

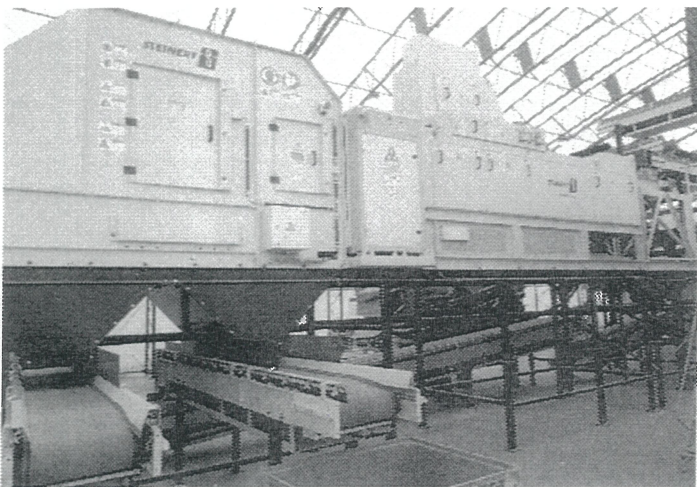
サナース

見学・実証施設が完成

選別機の実稼働を確認可能



装置を組み合わせた選別ライン



アルミを素材ごとに選別

リゲーシオン(分別)属センサー・カラーセ④ソーティング(仕分け)の4要素「4搭載のコンベヤー」における最適化を検証できる施設だ。シュパレック社(ドイツ)の定量供給機と3Dスクリン、ニホット社(オランダ)の風力選別機、シュタイナート社(ドイツ)の過電流選別機、ドラム型磁選機透過X線センサー・金

リに加え、アルミを展伸アルミ・鋳物アルミに選別することができるという。さらにドイツのシュタイナート社が提案する。また、レーザー誘起ブレイクダウザー分注装置(LIBS)が設置されており、日本から送った展伸材を合金ごとに選別することも可能にしている。今後はSSLで見学

者に装置の機能を紹介しながら、設備を導入する際に活用できる補助金の案内や、数年前に想定したプランなどを提案する。また、装置メーカーの技術者が来日した時に、選別を高度化するための研究会を開くなどの取り組みも進めていく。同社はアフターサービス

営業統括本部の雨宮望氏は「業界では人手不足が課題となっており、代替できる作業を機械に任せることも重要になる。中間処理業者のプラントでは、選別機だけでなくさまざまな機械が稼働しているため、当社が扱う移動式破碎機やマナハン機などを合わせて紹介し、私たちの思う『より効果的な設備プラン』を提案したい」と述べている。

工場系・使用済み製品・金属類